



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社コンヴァノ 上場取引所 東
 コード番号 6574 URL <https://www.convano.com/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 上四元 絢
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員（氏名） 藤本 光 (TEL) 03-3770-1190
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	3,854	154.7	1,842	—	1,926	—	1,262	—	1,262	—	1,262	—
2025年3月期中間期	1,513	13.6	△116	—	△120	—	△120	—	△120	—	△120	—
	基本的1株当たり 中間利益				希薄化後1株当たり 中間利益							
	円 銭				円 銭							
2026年3月期中間期	2.83				2.81							
2025年3月期中間期	△0.28				△0.28							

(参考) EBITDA 2026年3月期中間期 1,981百万円 2025年3月期中間期 12百万円

(注) 1. 当社グループは経営上の重要な指標としてEBITDAを用いております。

2. 前中間連結会計年度において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり中間損失の計算から除外しており
 ます、

3. EBITDAの定義、計算方法につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説
 明」をご覧ください。

4. 当社は、2025年8月2日及び2025年9月1日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。「基本的1株当たり中間
 利益」は、善連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	15,943	13,259	13,259	83.2
2025年3月期	3,164	1,743	1,743	55.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当 たり当期利益

通期	百万円 12,370	% 281.7	百万円 6,535	% —	百万円 6,535	% —	百万円 4,275	% —	百万円 4,275	% —	円 銭 8.40
----	---------------	------------	--------------	--------	--------------	--------	--------------	--------	--------------	--------	-------------

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 3社(社名) 株式会社アセットクリ
エイト、日本美容・ヘルスケア成長投資1号、除外 1社(社名) 株式会社TKBC
組合、株式会社TKBC

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	509,156,000株	2025年3月期	433,496,000株
-------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	20,100株	2025年3月期	15,300株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	445,698,519株	2025年3月期中間期	433,421,089株
-------------	--------------	-------------	--------------

※ 当社は、2025年8月2日及び2025年9月1日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約中間連結財政状態計算書	8
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	9
要約中間連結損益計算書	9
要約中間連結包括利益計算書	10
(3) 要約中間連結持分変動計算書	11
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	15
(1株当たり利益)	17
(重要な後発事象)	18

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの業績につきましては、売上収益は3,854百万円（前年同期比154.7%増）、営業利益は1,842百万円（前年同期は営業損失116百万円）、税引前中間利益は1,926百万円（前年同期は税引前中間損失120百万円）、中間利益は1,262百万円（前年同期は中間損失120百万円）、当社が経営上の重要な指標としているEBITDA（※）は1,981百万円（前年同期は12百万円）となりました。

当中間連結会計期間は、主に子会社の収益寄与が拡大し、各セグメントで構造的な改善が進展しました

※ EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び償却費

〈ネイル事業〉

当中間連結会計期間は、需要予測に基づくシフト最適化の前倒し効果によりピーク帯の席稼働が改善。あわせて集中購買と物流動線の単純化により主要資材の平均調達単価が低下し、収益性の改善に寄与しました。

〈コンサルティング事業〉

当中間連結会計期間は、高単価領域の案件獲得が想定を上回り、稼働最適化とナレッジのモジュール化・横展開により粗利率・営業利益率が改善しました。

〈ヘルスケア事業〉

当中間連結会計期間は、LG Chem Ltd.との提携深化を梃子にサプライチェーンを高度化した結果、8月以降に高単価医薬品等の取扱数・取扱高が急増し、需要シグナル連動の仕入・出荷の同期化を通じて在庫回転及び利益率が向上しました。

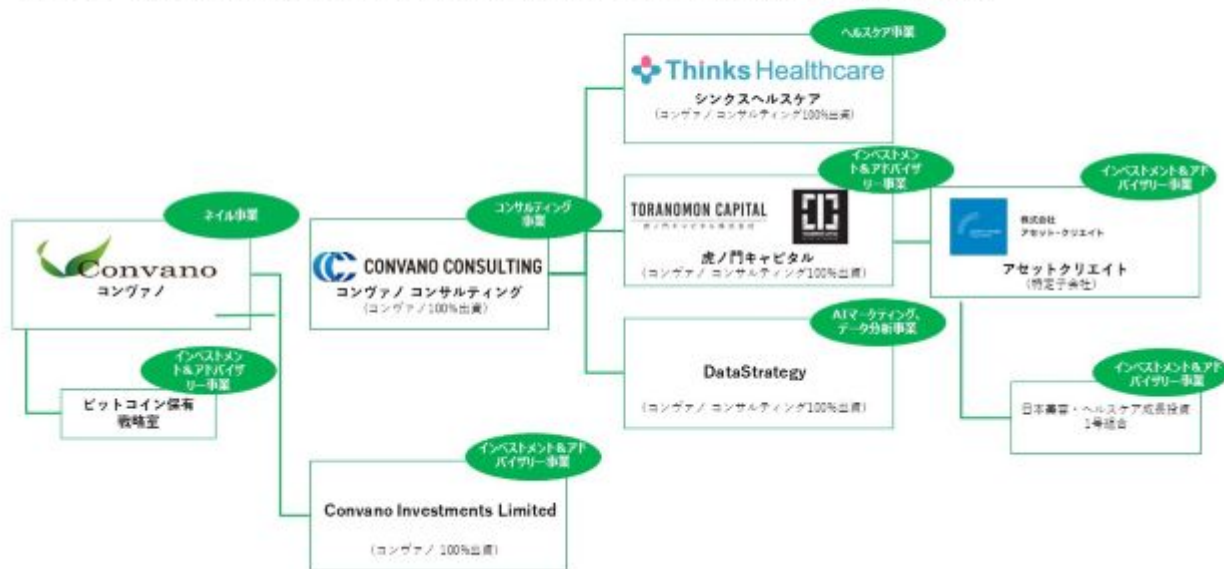
〈インベストメント&アドバイザー事業〉

当中間連結会計期間は、組合理型ファンド投資の売却額の確定が収益を押し上げました。加えて、暗号資産保有事業について、プレミアム収入が当期の収益に反映されております。

コンヴァノグループの業容拡大



暗号資産関連事業、WEB3事業を運営するConvano Investments Limitedを設立。
Avenir Groupとの業務・資本提携によりビットコインインカム事業の強化を図る。



ネイル事業：再拡大フェーズ



“FAST NAIL”国内No.1シェア獲得へ向け、出店ペースを加速。100店舗体制の基盤確立を2030年3月期 → 2027年3月期に前倒し。2030年3月期までには更なるシェア拡大を目指す



コンサルティング事業：グループ間シナジーを活かして事業拡大



高単価コンサルティング契約の獲得が想定を大幅に上回る。今後も大型案件の積み増しを見込む。2027年3月期には、本年度の約3.6倍の40億円を目指す。

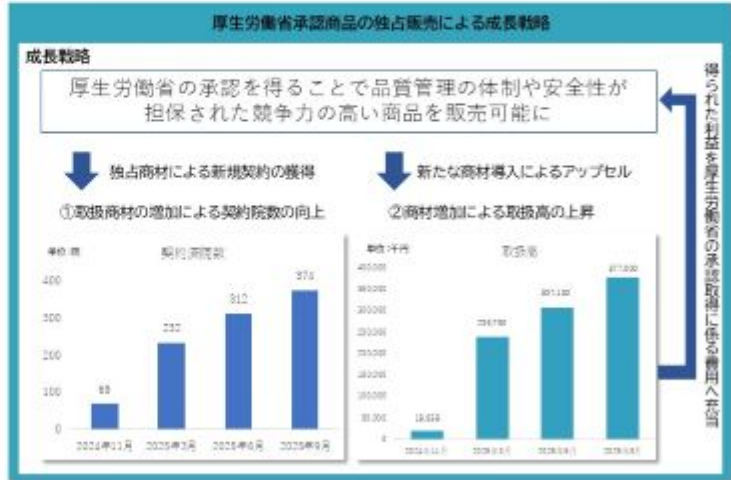
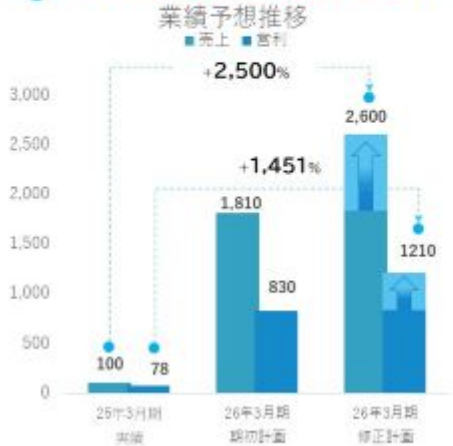


ヘルスケア事業：独占販売権をいかした販路拡大戦略



高単価医療用ヒアルロン酸製剤等の取扱高が急増し、契約済院数も着実に増加。LG chem ltd.との業務提携契約によりPMDAの承認を取得し更なる成長を目指し、自由診療の”総合商社”として圧倒的な医療機関ネットワークと製品力で指数関数的な成長を実現させる。

Thinks Healthcare



インベストメント&アドバイザリー事業：組合での投資実行済み



子会社の虎ノ門キャピタルが任意組合を通じて投資を実行。グループの資本戦略プラットフォームとして当初想定を上回るスピードで雪だるま式資本循環モデルを拡大中。

TORANOMON CAPITAL



成長根拠



*メディカル・サービス法人であり、医療機関の運営に関わる事業(医療行為以外の事業)を行う法人になります

ビットコイン保有戦略室:デルタ・ニュートラル戦略



単なる保有ではなく、ビットコインの価格が上がっても下がっても”相場の揺れ”を利益に変える市場中立型の運用体制を構築。



セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ネイル事業 (業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	1,513	1,554	41
セグメント利益(△は損失)	△158	145	303

(店舗数)

ブランド名	地域	2025年3月末	開店	閉店	2025年9月末
ファストネイル	関東	42(1)	—	—	42(1)
	東海	6	—	—	6
	関西	5	—	—	5
	中国	1	—	—	1
	九州	1	—	—	1
	計	55(1)	—	—	55(1)
ファストネイル・プラス	関東	1	—	—	1
ファストネイル・ロコ	関東	1	—	—	1
	東海	2(2)	—	—	2(2)
	関西	1(1)	—	—	1(1)
	九州	2(2)	—	—	2(2)
	計	6(5)	—	—	6(5)
合計		62(6)	—	—	62(6)

(注) ()内はフランチャイズ店舗であり内数であります。

② コンサルティング事業

(業績)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	126	338	212
セグメント利益(△は損失)	87	90	3

③ヘルスケア事業

(業績)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	—	557	557
セグメント利益(△は損失)	—	349	349

④インベストメント&アドバイザリー事業

(業績)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	増減
売上収益	—	1,497	1,497
セグメント利益(△は損失)	—	1,363	1,363

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当中間連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,833百万円増加し、3,218百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が1,435百万円増加したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ10,945百万円増加し、12,725百万円となりました。これは主に、無形資産が10,402百万円増加したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ12,779百万円増加し、15,943百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,522百万円増加し、2,370百万円となりました。これは主に、社債が397百万円増加、未払法人所得税等が610百万円増加したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ259百万円減少し、314百万円となりました。これは主に、借入金が275百万円減少したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,263百万円増加し、2,684百万円となりました。

(資本)

資本は、新株予約権の行使、中間利益の計上などにより前連結会計年度末に比べ11,516百万円増加し、13,259百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,435百万円増加し、2,241百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は914百万円（前中間連結会計期間は3百万円の収入）となりました。これは主に、税引前中間利益を1,926百万円計上したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は9,551百万円（前中間連結会計期間は19百万円の支出）となりました。これは主に、無形資産の取得による支出10,410百万円を計上したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は10,072百万円（前中間連結会計期間は135百万円の支出）となりました。これは主に、株式の発行による収入10,401百万円計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)の通期連結業績予想は、2025年10月10日の公表数値から変更はありません。

当中間連結累計期間の業績は、通期連結業績予想に対して概ね想定の範囲内で推移しました。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	806,173	2,241,083
営業債権及びその他の債権	455,555	716,911
棚卸資産	61,351	96,707
未収法人所得税等	22,991	464
その他の流動資産	38,130	162,376
流動資産合計	1,384,199	3,217,541
非流動資産		
有形固定資産	85,629	73,641
使用権資産	354,667	347,843
のれん	650,260	672,697
無形資産	516,369	10,918,681
その他の金融資産	171,530	711,015
その他の非流動資産	1,393	1,335
非流動資産合計	1,779,848	12,725,212
資産合計	3,164,047	15,942,753
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	140,440	201,142
借入金	50,004	300,004
社債	—	397,000
未払法人所得税等	47,928	657,789
リース負債	189,507	169,928
その他の金融負債	—	189
その他の流動負債	415,905	641,253
引当金	4,557	2,707
流動負債合計	848,342	2,370,012
非流動負債		
借入金	308,322	33,320
リース負債	157,284	174,991
その他の非流動負債	32,169	31,271
引当金	74,767	74,207
非流動負債合計	572,542	313,789
負債合計	1,420,884	2,683,801
資本		
資本金	10,000	5,239,924
資本剰余金	571,433	5,772,088
利益剰余金	1,161,855	2,424,320
自己株式	△125	△177,381
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,743,163	13,258,952
資本合計	1,743,163	13,258,952
負債及び資本合計	3,164,047	15,942,753

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	1,513,181	3,853,856
売上原価	986,653	1,293,891
売上総利益	526,528	2,559,966
販売費及び一般管理費	633,916	695,857
その他の収益	840	3,761
その他の費用	9,324	25,811
営業利益(△は損失)	△115,872	1,842,058
金融収益	130	89,317
金融費用	3,816	5,730
税引前中間利益(△は損失)	△119,558	1,925,646
法人所得税費用	59	663,181
中間利益(△は損失)	△119,617	1,262,465
中間利益の帰属		
親会社の所有者	△119,617	1,262,465
中間利益(△は損失)	△119,617	1,262,465
親会社の所有者に帰属する 1株当たり中間利益(円)		
基本的1株当たり中間利益(△は損失)	△0.28	2.83
希薄化後1株当たり中間利益(△は損失)	△0.28	2.81

要約中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益(△は損失)	△119,617	1,262,465
その他の包括利益	—	—
中間包括利益	△119,617	1,262,465
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	△119,617	1,262,465
中間包括利益	△119,617	1,262,465

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2024年4月1日残高		567,526	514,461	561,888	△89	1,643,786	1,643,786
中間利益(△は損失)		—	—	△119,617	—	△119,617	△119,617
その他の包括利益		—	—	—	—	—	—
中間包括利益合計		—	—	△119,617	—	△119,617	△119,617
新株の発行		480	220	—	—	700	700
自己株式の取得		—	—	—	△36	△36	△36
株式報酬取引		—	9,029	—	—	9,029	9,029
所有者による抛及及び所有者 への分配合計		480	9,249	—	△36	9,692	9,692
所有者との取引額合計		480	9,249	—	△36	9,692	9,692
2024年9月30日残高		568,006	523,710	442,271	△125	1,533,862	1,533,862

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	注記	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2025年4月1日残高		10,000	571,433	1,161,855	△125	1,743,163	1,743,163
中間利益(△は損失)		—	—	1,262,465	—	1,262,465	1,262,465
その他の包括利益		—	—	—	—	—	—
中間包括利益合計		—	—	1,262,465	—	1,262,465	1,262,465
新株の発行		—	—	—	—	—	—
新株予約権の行使		5,229,924	5,197,776	—	—	10,427,700	10,427,700
自己株式の取得		—	—	—	△329	△329	△329
新規連結による変動額		—	—	—	△176,927	△176,927	△176,927
株式報酬取引		—	2,879	—	—	2,879	2,879
所有者による抛及及び所有者 への分配合計		5,229,924	5,200,655	—	△177,255	10,253,324	10,253,324
所有者との取引額合計		5,229,924	5,200,655	—	△177,255	10,253,324	10,253,324
2025年9月30日残高		5,239,924	5,772,088	2,424,320	△177,381	13,258,952	13,258,952

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

注記	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益(△は損失)	△119,558	1,925,646
減価償却費及び償却費	127,857	138,568
有価証券損益(△は益)	—	△16,626
子会社の支配喪失に伴う利益	—	△1,279,187
減損損失	5,280	—
株式報酬費用	9,029	2,879
金融収益	△130	△89,317
金融費用	3,816	5,730
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△9,875	94,872
棚卸資産の増減額(△は増加)	12,828	△35,356
未収還付法人所得税等の増減額(△は増加)	—	22,528
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	10,948	76,235
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,034	△7,508
未払給与の増減額(△は減少)	15,488	26,536
未払賞与の増減額(△は減少)	19,517	△973
未払有給休暇の増減額(△は減少)	122	△20,968
資産除去債務の履行による支出	△1,643	△4,588
その他	△46,864	119,493
小計	33,849	957,964
利息の受取額	68	7,150
利息の支払額	△2,916	△3,481
法人所得税等の支払額	△27,983	△47,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,019	913,972
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,240	△10,611
無形資産の取得による支出	—	△10,410,497
敷金及び保証金の差入による支出	△9,625	—
有価証券の取得による支出	—	△9,781
有価証券の売却による収入	—	47,807
子会社の取得による収入	—	70,246
子会社の支配喪失による収入	—	761,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,865	△9,551,400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△50,009
長期借入金の返済による支出	△25,002	△595,002
株式の発行による収入	700	10,401,100
新株予約権の発行による収入	—	26,600
自己株式の取得による支出	△36	△329
リース負債の返済による支出	△110,623	△107,022
社債の発行による収入	—	4,897,000

社債の償還による支出	—	△4,500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△134,962	10,072,338
現金及び現金同等物の増減額	△150,807	1,434,910
現金及び現金同等物の期首残高	923,101	806,173
現金及び現金同等物の中間期末残高	772,294	2,241,083

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定および業績評価のため定期的に検討を行う区分です。2025年3月期より、報告セグメントを、「ネイル事業」「ヘルスケア事業」「インベストメント&アドバイザー事業」3区分に再編しております。2026年3月期第1四半期より、連結子会社である株式会社Convano consultingが外部売上を計上することになったことに伴い、2025年3月期においてネイル事業に含めていた当該子会社の事業セグメントを独立して、「コンサルティング事業」として報告セグメントを追加しております。

<ネイル事業>

- 直営・F C店舗でのネイル施術/ネイルケア商品の販売

<コンサルティング事業>

- 戦略・方針策定から導入支援、保守運用を提供するコンサルティングなど

<ヘルスケア事業>

- 医薬品等の輸入代行を中心とした医療関連サービス

<インベストメント&アドバイザー事業>

- 投資およびM&Aファイナンシャルアドバイザー

<セグメント利益の算定方針>

セグメント利益は連結損益計算書の営業利益を基礎とし、

- ① その他収益・その他費用
- ② 金融収益・金融費用
- ③ 法人所得税等

を除外した指標としております。

なお、当中間連結会計期間より、報告セグメントに帰属しない費用（上場維持費、IR関連費用、資本政策に関連して当期損益に計上される費用、増資に伴う外形標準課税・均等割の増加分等）は各セグメントへ配賦せず、「調整（消去及び全社）」として計上する測定方法に見直しました。比較可能性確保のため、前期のセグメント情報は同方針で組替表示しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、事業運営体制の再編および連結子会社の増加に伴い、取締役会が経営資源の配分決定ならびに業績評価に用いる内部管理指標を見直しました。これにより、2026年3月期より報告セグメントを次のとおり変更しております。

1. コンサルティング事業の新設

連結子会社である株式会社Convano consultingに係る事業セグメントは、2025年3月期までは「ネイル事業」として開示しておりましたが、2026年3月期第1四半期より外部売上を計上することに伴い、「コンサルティング事業」を独立した報告セグメントとして新設しました。

本変更は、経営管理上の意思決定単位に合わせて報告セグメントの区分をより実態に即したものとすることを目的としたものです。なお、比較可能性を確保するため、前連結会計年度のセグメント情報についても、新たな区分に組み替えて表示しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整 (消去・全社)	要約中間 連結財務諸 表 計上額
	ネイル事業	コンサルテ ィング 事業	ヘルスケア 事業	インベスト メント&ア ドバイザリ ー事業	合計		

売上収益							
外部顧客への売上収益	1,513,181	—	—	—	1,513,181	—	1,513,181
セグメント間の売上収益	—	125,857	—	—	125,857	△125,857	—
計	1,513,181	125,857	—	—	1,639,037	△125,857	1,513,181
セグメント利益(△は損失)	△157,923	87,214	—	—	△70,708	△45,163	△115,872
金融収益							130
金融費用							3,816
税引前中間利益(△は損失)							△119,558
その他の項目							
減価償却費及び償却費	127,857	—	—	—	127,857	—	127,857
減損損失	5,280	—	—	—	5,280	—	5,280

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整 (消去・全社)	要約中間 連結財務諸 表 計上額
	ネイル事業	コンサルティング 事業	ヘルスケア 事業	インベスト メント&ア ドバイザリ ー事業	合計		
売上収益							
外部顧客への売上収益	1,553,819	245,980	557,169	1,496,888	3,853,856	—	3,853,856
セグメント間の売上収益	—	91,658	—	—	91,658	△91,658	—
計	1,553,819	337,639	557,169	1,496,888	3,945,515	△91,658	3,853,856
セグメント利益(△は損失)	145,472	89,970	348,839	1,362,613	1,946,894	△104,835	1,842,058
金融収益							89,317
金融費用							5,730
税引前中間利益(△は損失)							1,925,646
その他の項目							
減価償却費及び償却費	137,790	258	60	461	138,568	—	138,568
減損損失	—	—	—	—	—	—	—

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

(1株当たり利益)

(1) 基本的1株当たり中間利益

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
親会社の所有者に帰属する中間利益(△は損失) (千円)	△119,617	1,262,465
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	433,421,089	445,698,519
基本的1株当たり中間利益(△は損失)(円)	△0.28	2.83

(2) 希薄化後1株当たり中間利益

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
親会社の所有者に帰属する中間利益(△は損失) (千円)	△119,617	1,262,465
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	433,421,089	445,698,519
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	437,732,237	448,482,851
希薄化後1株当たり中間利益(△は損失)(円)	△0.28	2.81

(注) 1. 前中間連結会計年度において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり中間損失の計算から除外しております。

2. 当社は、2025年8月2日及び2025年9月1日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり中間利益(△は損失)及び希薄化後1株当たり中間利益(△は損失)を算定しております。

(重要な後発事象)

(社債の発行)

2025年9月2日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間末後において発行した社債は以下のとおりです。当該発行により、当社の有利子負債は1,830,000千円増加しています。

会社名	銘柄	発行年月日	発行金額 (千円)	利率 (%)	償還期限
(株)コンヴァノ	株式会社コンヴァノ第4回普通社債	2025年10月15日	420,000	—	2025年12月31日
(株)コンヴァノ	株式会社コンヴァノ第4回普通社債	2025年10月17日	260,000	—	2025年12月31日
(株)コンヴァノ	株式会社コンヴァノ第4回普通社債	2025年10月30日	340,000	—	2025年12月31日
(株)コンヴァノ	株式会社コンヴァノ第4回普通社債	2025年11月12日	810,000	—	2025年12月31日

(暗号資産の購入及び売却)

当中間連結会計期間末後において発生した、当社の暗号資産の主な取得及び売却の状況は以下のとおりです。

	2025年9月30日	2025年10月8日	2025年10月11日 ～2025年10月17日	2025年10月17日
	(累計)	(売却)	(購入)	(累計)
購入/売却金額 (円)	10,410,498,556	11,076,402,662	11,445,467,512	11,479,841,001
購入/売却枚数 (ビットコイン)	605.75358328	603.75350000	663.00000000	665.00008328
平均購入/売却単価 (円)	17,186,029	18,345,902	17,263,149	17,262,917